

Magazine of Teikyo
Alternative Life

[フレア]
TAKE FREE

Flair

September 2010
SPECIAL
ISSUE
THE TEIKYO SELF

CONTENTS

- 04 Life in Durham.
ダラム分校で過ごす、有意義な日々
- 06 English Class.
室内授業
- 08 Activity.
課外授業
- 10 Interview with Students.
留学が私たちに教えてくれたこと
- 14 Event Information.
楽しいイベントが満載
- 16 From Staffs.
家族のようなスタッフたち
- 18 Letter from President.
学長からの手紙
- 19 Schedule for Studing
Abroad Program.
留学までの流れ



特集

ダラム留学のすすめ



発行月：2010年9月(特別号)
 発行：帝京大学本部大学 PR 推進室 〒173-8605 東京都板橋区加賀 2-11-1 TEL 03-3964-4162 FAX 03-3964-9189 E-mail:post@med.teikyo-u.ac.jp
 URL : http://www.teikyo-u.ac.jp/flair/ ご意見・ご要望をお待ちしております。郵送または FAX、E-mail にてお寄せください。 © 帝京大学 2010 禁・無断転載

ダラム留学のすすめ

「外国人の友だちが欲しいから」「将来、英語を使った仕事がしたいから」と、留学の理由は人それぞれ。ここイングランド北東部にある帝京大学のダラム分校にも、自分なりの目標を持った学生が毎年たくさん訪れています。見るものすべてが新鮮で刺激的！一生モノの経験ができるダラム留学の様子を、ほんの一部だけ覗いてみましょう。

Where there is a will,
there is a way.

ひと回り成長した自分に
出会える貴重な時間

イングランド北東部に、中世の面影を残すダラムという美しい街があります。古い遺産に囲まれた由緒あるこの地に位置するのは、オックスフォード大学、ケンブリッジ大学に次いでイングランドで3番目の歴史を誇る名門・ダラム大学。広大な敷地内に1990年に設立されたのが帝京大学ダラム分校です。

ここには毎年、帝京大学の学生が最長10ヶ月の短期留学に訪れます。彼らはまずオックスフォードにて行われる5日間ほどの研修を経て、ダラム分校へ入学。その後は授業で日常会話に加えてTOEIC対策やビジネス英会話など、さまざまな角度から英語をしっかりと学び、レポートやテストを繰り返しながら語学力を培っていきます。

「まったく英会話ができない状態で短期留学に参加する学生もいます。しかしプログラムを終える頃には、それなりに英語でコミュニケーションが取れるようになっていくんです」と語るのは、帝京大学ダラム分校の中山登校長。教室から一歩外に出れば、同年代の学生も学校の守衛さんも、お店の店員も、みんな英語で会話をしている人たちがばかり。英語を使わなければ前に進めない環境が「外国人に話しかけるのは緊張するな」「自

分のつたない英語が通じるのかな」といった不安を脇に置いて、自分の足で踏み出す勇気を与えてくれているともいえます。

またカリキュラムの中には、地元の小中学校で子どもたちと触れ合う「職業体験」や、ダラム周辺の歴史や文化に直接触れる「課外授業」など、机上だけでは学べない刺激的な時間も満載。7月中旬に行われる2週間のヨーロッパ研修旅行ではイタリヤやフランス、スペインなどを訪問し、近隣諸国の空気を肌で感じることもできます。さらに10ヶ月コースの学生はその後夏期休暇を利用して、ホームステイをしながら語学学校に通います。特に語学学校にはヨーロッパの広い範囲からたくさんの学生が訪れるため、ダラム大学とはまた違った雰囲気の中で同年代の友人を増やすこともできますでしょう。

「ヨーロッパの学生に日本のことを聞かれて、自国について意外と無知だった自分に気づく学生も多いようです。短期留学を終えて「広い視野が持てるようになった」という声を聞くと、こちらとしてもうれいすね」(中山校長)

外国を知ること、日本を知ることにもつながります。自分が思っている以上の収穫が得られるのが、留学のステキなところ。今しかできない経験が、ダラムにはたくさんつまっています。



Let's Study in Durham!



6. 真剣な表情で、英語と格闘する学生たち。7. 次の授業の連絡や忘れ物など、学生への告知メモがかわいらしく貼られた教室の壁。8. 先生や現地の学生と談笑しながらの食事。朝食はバイキング。昼食と夕食は用意されたメニューの中から、好きなものを選ぶことができる。9. 晴れた日は、きれいに整備された[Etsuko Hall]の庭の芝生が心地よい。



帝京大生が所属する、4つのカレッジ。



セント・メアリーズ・カレッジ
St. Mary's College

4つの中でも最も古く、100年の歴史を誇る伝統的なカレッジ。ダラム大聖堂にほど近いところに位置している。



コリングウッド・カレッジ
Colingwood College

1990年代初頭に拡張工事を行い完成した、近代的な建物。収容人数が多く、およそ1100名の学生が在籍している。



バン・ミルダート・カレッジ
Van Mildert College

ダラム大学設立者の名前がついたカレッジ。ジムやバーなどの他、ゆったりとくつろぐことのできる美しい庭を有する。



グレイ・カレッジ
Grey College

50年の歴史を持つカレッジ。小高い丘の上のあり、ロケーションは抜群。ダラム大聖堂が一望できる。



荘厳な歴史的建造物・ダラム大聖堂は、映画「ハリー・ポッター」のロケ地としても有名。ダラム大学の卒業式はここで行われる。

Life in Durham

英会話、現地の友だち、小旅行。ダラムで過ごす、有意義な日々。

日本以外の国で、ある一定期間を過ごす。そんなスペシャルな時間をかけがえのないものにできる環境が、ダラム大学には整っています。



1. 男子学生が生活する「Shoichi Hall」。2. 女子学生が生活する「Etsuko Hall」。休憩時にはラウンジでテレビ鑑賞をしたり、フリースペースで談話したりと、両ホールの施設が利用できる。



Durham

ニューカッスル空港から車で約40分。ロンドンへは列車で約3時間。人口約8万人のうち、1万4千人が学生という学園都市。1000年の歴史を誇る「ダラム大聖堂」「ダラム城」というふたつの世界遺産を有する。

カレッジに所属し、現地の学生と同様に生活。ダラム大学の特徴は、「カレッジ制」が導入されているということ。講義は学部単位だが、学生の生活の中心はカレッジとなり、それぞれのカレッジごとにアクティビティやスポーツ大会を行ったり、カレッジ専属の指導教師であるチューターが学生の個別相談につけてくれたりと、人とのつながりが非常に密なのである。帝京大生はダラム大学の16のカレッジのうち4つのいずれかからメンバーシップをもらい、現地の学生と同じように共通の施設を利用し、行事にも参加しながら人間関係を築いていく。宿泊に関するのみ、帝京大生にはダラム大学敷地内の「Shoichi Hall」「Etsuko Hall」という帝京大学の寮にて1人1部屋が与えられるが、一

部は所属カレッジに居住している学生もいる。いずれにせよ、日本人以外の友人を作る機会に恵まれていることは確か。カレッジ内の食堂やバーで顔を合わせるうちに、徐々に仲良くなるというケースも多いようだ。加えて帝京大生にとって頼もしいのが、ランゲージパートナーの存在。これは「調子はどう？」といった気軽な会話をしたり、一緒にゲームを楽しんだりしながら英語を教えてくれたりするボランティアの学生団体である。帝京大生にとっては、不安だらけの海外生活に慣れるための後押しをしてくれる力強い協力者ともいえる。

そのような環境の中で生活しながら、彼らは主に分科にて授業を受ける。基本的に午前中は英語、午後は教養科目や課外授業または自由時間。英語はダラム分校入学時に行われるテストの結果でクラス分けが行われるため、自分のレベルにあったクラスで学ぶことができる。自由時間には部活動や音楽活動、ボランティアの他、ダラムの美しい町並みを散策するなど、思い思いに過ごす学生がほとんど。寮のラウンジで英語の字幕つき映画を見ながら、リスニングの勉強に励むこともあるという。休日には列車で20分弱ほどのところに位置するニューカッスルへ買い物に出かけたり、ウィットビーやスカイポロなどの港町まで足を延ばしたりする学生も。アクティブに活動する中で万が一病気や事故にあっても、無料で診断してもらえる保険制度が整っているのもうれしい。

真剣に学び、現地の人と交流し、自分の力で遠出する。限られた時間を有意義に使いながら、彼らは語学力以外にもさまざまな収穫を得ているようだ。

3. 英国史や課外授業なども担当する中山校長。4. ダラム分校校舎。帝京大生はここで授業を受ける。図書館には日本語の雑誌から英語の本まで充実。5. 部活動やサークルもさかん。各カレッジのチームに所属して活動を続ける帝京大生も。



動いたり話したりして
退屈させないこと。それが
能率アップの秘訣です!



英語教師
スチュワート・マッケイ先生
Stewart McKay

みんながきちんと授業について
これているか答えを求めたり、
意見を述べさせたりする
ようにしています。私の提案
に対してきちんと答えてくれる
素晴らしい学生たちですよ。



すべてのクラスは10~15人と少人数のため、
学生の発表が主体になる。「発言」がメ
インになることで、だんだんと英語を話す
ことに対する抵抗が薄れていっているの
がわかる。間違えることも怖くない。



授業中に行われる小テスト中も、先生は学
生の様子をしっかり見ている。問題が解け
ず行き詰まっている学生には、答えを教え
るのではなくヒントを与える。自分で考え
ることが、何よりも大切なのだ。

School

ホワイトボードを使った指
導のあと、内容が理解でき
ているかどうか力試しの小
テストが行われる。学生が
発表している間、プリント
を見ながら真剣に聞き入
る先生。間違いは、丁寧に正
してくれる。

授業はプリントが配られ、問
題を解き、発表するというパター
ンが数回繰り返される。この日は
他にもリスニングや、テーマに
沿って文章を作成するライティ
ングのトレーニングが行われた
が、いずれも会話のキャッチ
ボールが密なことには変わりが
ない。ひたすら問題を解くとい
う形式ではないため、楽しみな
がら試験の対策ができる。「徐々
に力がついてきている実感があ
る」という学生の力強い感想が
印象的な授業だった。

質問を黒字、回答を赤字で
板書し「正しいQ&Aの組
み合わせは？」と問いかけ
る先生。彼は単語などもま
めに板書してくれるため
「英語が耳慣れない私たち
にもわかりやすい」と学生
からも喜びの声が。



慣用句の書かれた短冊を、「良い」「悪い」
の意味別に仕分ける。辞書を使ってもOK
だが、それでも解き明かせないものがら
ば。答え合わせをしたあとは、みんな
一緒に発音の練習をして頭に入れる。



English Class [室内授業]

ネイティブが教える英語は、
コミュニケーション第一。

日常会話にビジネス英会話、TOEIC試験対策まで
英語の授業といっても種類はいろいろ。しかし
どのクラスでも変わらず「対話」を大切にしています。

試験対策の授業でも、
「楽しく」が基本。

「今日は何曜日?」

スチュワート先生が英語で問
いかけると、学生のひとり
が「Wednesday」と答える。毎週
水曜日のスチュワート先生のク
ラスは、TOEIC試験対策の
日だ。一般的にはテクニクを
鍛える時間になるはずだが、授
業の冒頭で先生が取り出したの
は短冊状の紙。単語が表示され
たものと文章が表示されたもの
の2種類が、ランダムに配ら
れる。先生が「さあ、パートナー
を見つけて」と言うと、学生た
ちは一斉に席を立った。

これは、授業の冒頭でいつも
行うウォームアップ。例えば
「loan (V)」という単語を持っ
ている人は「I loan somebody
money (誰かにお金を貸すこ
と)」という紙を持っている人
とペアになるという風に、単語
とその意味をくっつけるゲーム
である。「いきなり授業を始め
ると、みんな集中力を失ってし
まうからね」と先生。ほどよく
頭と体を動かしたあとに、講義
を始めるという流れだ。

この日の授業は「good」
「bad」以外に「良い」「悪い」
を表す単語を挙げるところから
入っていた。「wonderful」
「excellent」「wors」「poor」

音楽が流れる和やかな雰囲気の中で、先生と
学生のコミュニケーションが行われる。授業
は英語で進められるが、慣れるまでは先生
がゆっくりと話してくれるため「理解しよう」
という気持ちがあればちゃんと伝わる。



ウォームアップは、最初に持っていた紙を
学生同士でチェンジして数回繰り返される。
一通り終わると、意味が書かれた方の紙に
単語を記入して暗記。ここで使われるのも、
TOEIC試験に必要な単語だ。





ハドリアヌスの長城は観光地としても人気で、各国からたくさんの人々が訪れる。長城の歴史がわかるパネルや遺物などが展示された博物館に加えて、ビジターセンターやミュージアムショップなども併設。

自分の足を使って、実際に見に行くことも大切なんです

帝京大学ダラム分校
中山 登校長
Noboru Nakayama



ダラム分校では、こういった課外授業も多数企画しています。私は英国史の授業も担当していますが、やはり実際に外に出て歴史を肌で感じることも大切だと思いますね。



高さ1~2mの城壁の上を、お互いを気遣いながらゆっくりと進む。デコボコしているため、歩きやすい恰好は必須！高いところを怖がる学生も多いかと思いきや、意外とみんな大丈夫なようだ。



自然の中を歩く前に、それぞれが持ってきたサンドイッチや果物などで腹ごしらえ。小高い丘からは、見渡しても見渡されないほどの緑が広がる。初夏の心地よい陽気も手伝って、ゆったりとしたひとときに。

Extra Lesson [課外授業]

テキストを置いて、イギリスの歴史を見に行く。

日本とは違うスケールが楽しい、ダラム分校の課外授業。今回は希望者12人を募って、世界遺産であるハドリアヌスの長城へ足を運びました。

ハドリアヌスの長城の場所



かつてはニューカッスルからカーライルまで、約120kmの城壁が続いていた。今も保存状態がよく残っているのが今回訪れたハウステッス・ローマン・フォートだ。

ハドリアヌスの長城って？

イングランドの北部、スコットランドとの境界線近くに残された、ローマ帝国時代の城壁跡。古代ローマが繁栄していた2千年ほど前、イギリス本島に上陸したローマ軍の第14代皇帝ハドリアヌス帝が、北からのピクト族やスコット族などの侵入を防ぐために建設を命じて完成させた。いわば軍事上の防衛線であり、国境と同等の意味を持つ。1987年に世界遺産登録されてからは観光地としても有名で、城壁の他に共同トイレや病院などの遺跡を見ることが出来る。所々に、日本語の解説パネルが設置されているのもうれしい。



滅多に訪れない場所なので、一緒に記念写真を撮ろうと城壁の上で整列する学生と中山校長。カメラ持参の学生は「このカメラでも撮って！」と次々に手渡す。青空と緑がマッチして、最高の写真が撮れた。

雄大な自然の中に残る英国の歴史に触れる旅

「ハドリアヌスの長城」とは、ローマ帝国が400年間にわたってイギリスを支配していた時代の重要な遺跡。イングランドの歴史に多大なる影響を与えたこの城壁の一部は現存しており、毎年多くの人々が訪れる観光所としても有名だ。

そんな歴史的遺産をこの目で見よう！と、中山校長引率のもと課外授業に出発した帝京大生一行。事前にハドリアヌスの長城の歴史について文献やインターネットで下調べをしていた彼らは、いよいよ本物が見られるとあって期待に胸を膨らませている様子だ。

ダラム分校から車で1時間半と決して近い距離ではないが、目的地に近づくにつれて美しい田園風景がみんなの心を癒し始める。放牧された馬や牛などに歓声を上げつつ到着すると、緑の中に続く石の城壁が目に入ってきた。完成当時はイギリス本島を約120kmもの長さで横断していたというが、今目にするのができるのはほんの一部。それでも広大な自然の中

に伸びる城壁を見ると「これで一部か」と驚きを隠せない。「崩れた部分に時の経過を感じる」と、壁に見入る学生も見受けられた。

幸い晴天に恵まれたため、さわやかな空気に触れながら早速一行はハイキングを開始。「あっちの方まで行ってみよう」という中山校長の言葉に「あんなところまで行けるんですか？」と学生たちは不安そう。見通しがいいため、目標地点がかなり遠く感じてしまうのだ。それでも、転びそうになるほどの下りはお互いを気遣いながら、体力を奪われる上りはゆっくりりと、アツプダウンの激しい石の階段を少しずつ進むうちに余裕も出てきて、次第に会話も弾んでいった。

やがて目的地に到着すると、そこには窪地に佇む一本の木が。「これは、ケビン・コスナー主演の『ロビン・フッド』という映画の冒頭で使われた木なんだ。それ以来周辺の人たちは、この木を、ロビン・フッドの木と呼んでいるんだよ」と中山校長。心地よい疲労感に浸りながら、この広大な大地が新旧さまざまなドラマを見てきたことを改めて実感した学生たちだった。

ピクニックに訪れる人も多いハドリアヌスの長城だが、その勾配はかなりのもの。石の階段はすべりやすいので、下りは特に注意が必要だ。「眺めが最高！」とはしゃぐ学生たちも、この時ばかりは足下に集中。



北イングランドの豊かな自然の中、山間の窪地になっている場所で空に向かって大きく枝を伸ばす「ロビン・フッドの木」。映画の撮影自体は別の街で行われていたが、イントロにはこの場所が選ばれたという。



1 ダラムで流れるすべての時間が、充実しています。

短期間の生活で、大きな進歩を実感。

「子どものころから英語に触れる機会が多くて、イギリスのすべてに憧れていたんです」

そう嬉しそうに話す滝川さん。「出国前はかなり緊張していたけど、訪れてみたら日本と同じくらい住み心地が良かった」という彼女はダラムの生活にもすぐに慣れ、授業にも集中できているようだ。「日本と大きく違うのは、授業が英語で行われること。先生の説明を聞くだけで、文法がどんどん頭に入ってくるんです。そのお陰で、英語の質問にも答えられるようになりました」と、短期間での収穫を語っ

た。「最初と比べると、彼女の進歩はかなりのもの」と、坂下さんも驚きの表情を見せる。

「僕の場合は、苦手な英語を克服したいという気持ちがあってダラム留学に参加したんです。映画が好きなので洋画を字幕なしで見ることが夢だったのですが、まずは外国で生活できるくらい会話力を身につけたいという目標にシフトしてきましたね」

日常会話をマスターすれば、自ずと洋画も理解できるようになるはず。自分ではまだまだ、と謙遜する彼だが、周りからは「英語の間違いを恐れず、積極的に外国人に話しかけるところがすごい」と評されているようだ。基本的に人見知りをしな

いという坂下さんだが、それはダラム留学に参加している学生たちの特徴でもあるのかもしれない。「イギリスの人たちはみんなフレンドリー。そんな空気が自分に合っていると感じる」と、田中さんも現地の感想を述べた。

「ただマナーに関しては、まだ理解に自信のない部分があります。でもイギリス人は、会話の中で『それはタブーだよ』と教えてくれるのでとても親切。これからは文化的なことも学んで、もっと友達を増やしたいです」

めざすところは人それぞれ。少なくともみんな、日々ダラムの空気に溶け込んでいく中で、自分なりの手ごたえを感じているようだ。



A 外国語学部外国語学科
イギリス留学コース1年
坂下拓也さん
Takuya Sakashita

B 外国語学部外国語学科
英語コース2年
滝川裕香さん
Yuka Takigawa

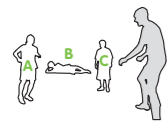
C 外国語学部外国語学科
イギリス留学コース1年
田中 旬さん
Tadashi Tanaka



Interview with Students

ダラムでの留学経験が、私たちに教えてくれたこと。

期待と不安で胸をいっぱいしながら、海を渡った帝京大生たち。彼らが現地で実際に感じた手ごたえや、これからの目標などを聞いてみました。



A 外国語学部外国語学科
英語コース2年
新井大地さん
Daichi Arai

B 外国語学部外国語学科
英語コース2年
佐々木豪さん
Go Sasaki

C 外国語学部外国語学科
イギリス留学コース1年
宮本巨輝さん
Koki Miyamoto



A 外国語学部外国語学科2年
乗松裕子さん
Yuko Norimatsu

B 経済学部経済学科3年
坂本俊樹さん
Toshiki Sakamoto

4 夢を叶えるための、努力は楽しい!

スポーツは、人と人との絆を深くしてくれます。

新井さんが海外に興味を持ったのは中3のとき。職業体験で訪れたフットボールエージェンシーで、日本人選手を海外に売り込む仕事に憧れたのがきっかけだったという。「そのために、まずは英語を習得したかった」と話す彼の傍らで、航空会社志望の佐々木さんも「就職に必要な英語を学び、英国での経験を

積むためにダラムに来ました」と話す。ふたりとも食堂やバー、カレッジのサッカーチームとの交流などにより着実に友だちを増やしているようだ。さらに同じ帝京サッカーチームに在籍中の宮本さんも「夏休みの語学学校は、マンチェスターのサッカーコースに参加するつもりです」と、サッカーを通して友だちを作りたい意気込みを語った。スポーツも、人と人とを結び良き媒介になっているようである。

5 ダラムでは、成長と発見の連続でした。

様々な収穫が得られた貴重な時間を振り返って。

昨年、ダラム分校への留学を経験した乗松さんの一番の思い出は「とにかく勉強した」こと。「授業は常に前列で聞いて、わからないことは積極的に質問していました。最後のパーティで『一番勉強を頑張った学生』として表彰されたときは、本当にうれしかったですね」と当時を振り返る。同じく昨年の参加者、

坂本さんは『リーダーシップ賞』の受賞者。所属カレッジの帝京大生代表に選ばれたり、秋に行われる帝京祭を統率したりする中で、彼自身も自分がリーダー気質だったことに改めて気づかされたという。「自分の性格を知ることができた、という意味でも、ダラムで過ごした時間は貴重でした」と坂本さん。日本を離れて過ごす時間は、学生たちに思いもよらぬプレゼントを与えてくれるようだ。

2 会話に自信が持てるようになりました。

怖がらないで、積極的に話しかけることが大切。

「最初は相手が何を言っているのかわからなかった」と口を揃える3人。「でもランゲージパートナーが『どんどん話せばいいんだよ』って言ってくれたお陰で吹っ切れました」と倉本さんは明るい表情を見せる。「わからないことは聞けばいいですしね」と頷く桜井さんは、英語が通じず悔しい思いもたくさんし

てきたという。しかし積極的に現地の友だちと接するうち、久しぶりに会ったランゲージパートナーに会話を誉められるまでに成長したのだそうだ。一方、自主学习にも力を入れる曾根さんは「スーパーでも言葉がわからず苦労しましたが、今は難なく聞き取れるようになりました」と、実生活を通して自信がついたことを話してくれた。現地の人々と接しながら大きくなる、彼らの今後が楽しみである。

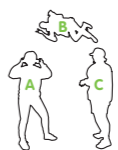
3 私を成長させてくれる友だちは、大切な宝物。

話し方の癖がわかるほど現地の学生と仲良しに。

ダラムで生活して2ヶ月。周りが驚くほどたくさんの友だちを増やした水越さんは、イギリス人について「日本人より積極的。この間などは、一度も話したことのない子が部屋に来て『今度お茶するからおいで』って誘ってくれたんです。びっくりしたけど、嬉しかったですね」と話す。同じカレッジの友だち

とは、ダラムの街に出て食事をすることもあるという。さまざまな人と仲を深めるうち「相手の話し方の癖までわかるようになった」というから驚きだ。

将来は国際弁護士になりたいという彼女。外国語学部ではなく法学部を選んだ理由はそこにある。「英語をマスターして、ゆくゆくは国と国とを結ぶような仕事がしたいですね」。そのための第一歩は、順調に踏み出せたといえるだろう。



A 外国語学部外国語学科
イギリス留学コース1年
倉本瑞歩さん
Mizuho Kuramoto

B 外国語学部外国語学科
英語コース2年
曾根涼平さん
Ryohei Sone

C 外国語学部外国語学科
イギリス留学コース1年
桜井量子さん
Ryoko Sakurai



A 法学部法学科2年
水越茉奈さん
Mana Mizukoshi

Boat Race

ダラム川で白熱する
大学対抗のボートレース

ボートレース「ダラムレガッタ」の起源は、1800年代。ダラムの地域のアマチュアボートクラブが、チャリティー活動を兼ねてレースに参加したのが始まりである。メインの勝負は、ダラム大学とニューカッスル大学の対抗試合。美しい川を下る躍動的なボートに、思わず熱の入った声援を送る学生も多い。



School Visit

地元の子どもたちと
対話しながらの職業体験

近隣の小学校にて子どもたち(4~11歳)と接する「職業体験」にも参加できる。年齢にあわせて行われているいずれかのクラスに入り、午前と午後の1時間半の授業のほか、昼休みも子どもたちと過ごす。子どもたちとのコミュニケーションを通して、英語の勉強の刺激にもなるようだ。



Horse Riding

乗馬クラブで行われる
放課後の課外活動

週に1回、スチュワート先生引率のもと、近くのクラブにて乗馬を体験することができる。料金は1回につき15ポンドと、日本より格安。こちらも「スポーツと健康」の単位修得のための時間として換算される。5~6回受講すれば、比較的上手に乗れるように。かわいい馬を見ているだけでも、心が和む。



Event Information

生のイギリスに触れられる 楽しいイベントが満載。

ダラム大学には、スポーツや学外研修などを通して、イギリスの文化に触れられる機会が満載。帝京大生たちも積極的に参加し、さまざまな経験を積んでいます。



Summer Ball

卒業試験の後に
行われる1年で最大のパーティー

6月に3週間かけて実施される、ダラム大学の卒業試験。終わったあとの開放感に浸る学生たちを待っているのが「サマーボール」というイベントである。正装して集まり、会食を終えると会場はダンスホールへ早変わり。帝京大生たちも所属カレッジのサマーボールに参加し、年に一度のお祭りを一緒に楽しむ。



Tennis

本格的なテニスの技術
身につける機会

帝京テニスチームの練習は、ダラム分校に隣接したコートで行われる。活動は不定期だが、週に1回(1時間)コーチの本格的な指導を受けることができるのが特徴だ。初心者向けと上級者向けに分かれているため、ラケットを握ったことのない人でも安心。この機会に、テニスの腕を磨いてみては?



イギリスの文化に
触れられるイベントが
いっぱいあります!

現地の学生さんからの貴重な経験ができる。勉強以外にもさまざまな活動に参加している帝京大生たち。主にカレッジごとに行われる小さなパーティーから、ダラム大学が主催して行う大きなライブイベント、スポーツ大会までその幅は広い。広大な敷地を使い、朝まで楽しむこともあれば、普段は勉学に勤しんでいるダラム大学の学生共々、このときだけは一丸となって思いきり遊ぶ。緩急がはっきりしているのも、イギリスの大学のいいところなのかもしれない。

また、スポーツ活動に関しても積極的だ。イギリスは数多くのスポーツ発祥の地でもあり、ゴルフやラグビー、テニスやサッカーなどはその代表で、ダラム分校でもスポーツをカリキュラムに取り入れている。サッカーやテニスなどのほか、少し離れたクラブに通いながら乗馬を続ける学生も。希望のスポーツがあれば、有志を集めていくつでも「帝京チーム」を立ち上げることができる。時間を有効に使って好きなことに打ち込みながら、彼らはさらなる経験を自分の中に蓄えているのである。

Afternoon Tea

イギリスの家庭で楽しむ
アフタヌーンティー

キャンパス近くのご家庭にて、アフタヌーンティーを楽しむ機会が設けられている。サンドイッチやミートパイ、プチケーキなどの軽食とともにイングリッシュティーをいただくこの伝統的なお茶会のメインは、なんととってもおしゃべり。地元の方々も過ごす和やかな時間の中で、自分の英語力も試してみよう。



Soccer

本場イングランドで
サッカーをプレイ

帝京サッカーチームは主に、ダラム大学の学生やスタッフなどのチームと交流試合を行いながら熱心に練習を重ねている。所属カレッジのサッカーサークルに入り、活動を経験する積極的な学生も。トライアルテストを受けて合格すれば、ダラム大学のサッカー部に入部することもできる(これはどのスポーツでも同じ)。



Pub

カレッジのバブで
ダラム大生と触れ合う

カレッジにはバブが併設されていて、夜になると学生同士が集まって賑わいを見せている。もちろん、帝京大生も利用することが可能だ。ビッグスクリーンに映し出されるサッカーと一緒に見たり、気になる人に話しかけたりしているうちに、友だちの輪がどんどん広がっていく社交の場なのである。



Outdoor Live

カレッジ主催の音楽祭、
「Jam by the Lake」

「Jam by the Lake」とは、バン・ミルダート・カレッジの学生が主催する年に一度の音楽祭。ダラム地域で有名なバンドを招いて、音楽を楽しむイベントである。入場料は無料で、もちろん所属カレッジ関係なく遊びに行くことが可能。これ以外にも、帝京大生が参加できる多彩なイベントも多数開かれている。



Pizza Party

各カレッジで不定期に
行われる交流会

帝京大生が所属する4つのカレッジでは、それぞれ不定期で先生主催のスマールパーティーが催される。晴れた日に庭で行われるバーベキューのほか、おいしいピザを囲んで談笑するピザパーティーなどもそのひとつ。これには同じカレッジのダラム大生も参加するため、友達を増やす大きなチャンスでもある。



8 英語教師
エマ・テイラーさん
Emma Taylor

興味と情熱、それこそが英語学習の原動力なのです。

私はダラム大学在籍時、所属カレッジで帝京大生と接することで日本に興味を持ち始めました。ダラムに来る学生たちはみんな、イギリスの文化に興味を持っていますよね。その情熱こそが、英語を修得するための大きな力になるはずです。



7 学長
中山 登さん
Noboru Nakayama

学生たちのポテンシャルを引き出す環境です。

ダラムでは自分がある程度アピールしながら、自分で自分の道を切り拓いていく努力が必要です。好きなこと、得意と思うことを早く見つけて、それをうまく英語に結びつけていくと、友人の輪も広がり、大きな自信につながります。



2 ヘッドポーター
ロビン・ヘインズさん
Robin Hinds

帝京大生たちと過ごす時間はとても楽しいものです。

私は帝京大生たちが移動するときに必要なバスの運転から庭の手入れ、警備などを担当しています。彼らと会話をする時間もとても楽しいです。来た当初は英語が話せなかったのに、しばらくすると上達しているのには毎回驚かされますね。



1 学長事務部長
マイケル・ディリーさん
Michael John Daly

同年代の学生がたくさんいる街。だからこそ友だちも増やせる。

私はよく帝京大生たちに「授業が終わったら、街に出て英語を使いなさい。そこで友だちを作りなさい」と話しています。ダラムには5万人もの学生がいますから、友だちができないわけがないのです。自信を持って、話しかけてほしいですね。



From Staffs 厳しくもやさしい、 家族のようなスタッフたち。

ダラム分校には、帝京大生を支えてくれるたくさんのスタッフがいます。つまずいたときにはすぐに相談できる、力強い味方なのです。



11 英語教師
スチュワート・マッカイさん
Stewart McKay

現地の人々と対話しながら、日常会話を学んでほしい。

帝京大生はフレンドリーで、授業の内容にも関心を持つ学生が多いという印象です。ビジネス英語や TOEIC 対策ももちろん大切ですが、それ以外にも現地の友だちやスタッフと話をしながら日常的に使う英語を学んでもらえたらと思います。

10 学長事務部長
長堀安弥乃さん
Ayano Nagahori

ダラムの友だちはもちろん、日本人との絆も深められます。

私はダラム分校の卒業生です。今は帝京大生のサポートをしています。ダラムでは現地の友だちだけでなく、苦楽を共にするからこそ一生つきあっている日本の仲間とも出会うチャンス。この機会に、たくさんの人と絆を深めてほしいです。

9 英語教師
ヘレン・マカリーさん
Helen McAree

イギリスに来たからには、カルチャーに触れることも大切。

帝京大生たちは英語を学ぶことに対して積極的ですから、英語を教える私にもとても楽しいです。こちらの暮らしも満喫しているようですね。イギリスの間は言語だけでなく、カルチャーにも触れてさまざまな経験をしてほしいと思います。

6 学長事務部長
カレン・トンプソンさん
Karen Thompson

礼儀正しい学生たちに会えるのが毎年楽しみです。

分校設立当初から、寮の掃除や設備の不具合点検などのお手伝いをしています。もう勤続20年になりますね。でも初めてここに来た帝京大生たちのことは、今でも思い出すことができます。みんな礼儀正しくて、とてもいい子たちですよ。

5 英語教師
エリック・バウムガートナーさん
Eric C Baumgartner

英語はもちろん、自立心も培ってくれたら嬉しい。

私のように英語を母国語としないドイツ人から見ても、帝京大生には努力家が多いと思います。諦めないでなるべく日本語を使わず生活すれば、英語は必ず上達します。加えて、親元を離れて生活する中で自立心も学んでくれたら嬉しいです。

4 英語教師
ピーター・シャムブルックさん
Peter Shambrook

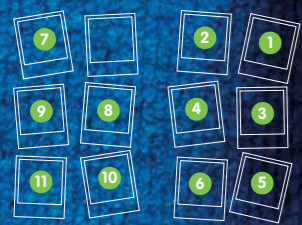
ルールや習慣を身につければコミュニケーションもスムーズ。

私は英語はもちろん、ヨーロッパの歴史についても教えています。歴史を知れば、今日の政治やルール、マナーや習慣なども理解しやすくなりますからね。イギリス人と交流するために必要な知識も、自分のものにしていきましょう。

3 図書館司書
デービス美貴子さん
Mikiko Davies

本物の英国を体験するために、知識を蓄えることも大切。

14年間もダラム分校で帝京大生を見てると、カラーが毎年違っておもしろいですよ。こっちにいる間に、できるだけ本物の英国を体験してほしいですね。そのために、歴史や文学などの本は大きく役立ちます。気軽に遊びに来てください。



Schedule for Studing Abroad Program

ダラム分校短期留学までの流れ

ダラム分校短期留学のコースは3つあります。
希望のコースや申込みから出発までの流れ、
単位取得制度など、事前に確認しておきましょう。



1 プログラム概要

経済・法・文・外国語学部(一部学科を除く)、帝京大学短期大学の学生を対象とした「短期留学」では、帝京大学グループならではのカリキュラム・費用でイギリスに留学できます。英語のスキルアップはもちろん、異文化や歴史について深く学べる環境を提供しています。

大学	帝京大学	帝京大学短期大学
対象	経済・法・文・外国語学部の全学科 (文学部の一部学科を除く)	全学科
年次	全学年(卒業年次生は除く)	全学年(卒業年次生は除く)
留学期間	4ヵ月コース: 4月~7月 6ヵ月コース: 9月~翌年2月 10ヵ月コース: 4月~翌年2月	4ヵ月コース: 4月~7月 6ヵ月コース: 9月~翌年2月

注1 2009年度の実施例です。留学期間(時期)については変更となる場合があります。
注2 修得単位など参加条件を満たしていない場合は参加できません。



2 申込みまでの流れ

留学の手続きを完了するまでには、申込手続き開始は半年前から始まります。
事前に準備をして、それぞれの手続きの締め切り日を確認しましょう。



3 単位認定制度

ダラム分校では、全科目の履修が必要となります。所定の成績を修めて
単位を修得した場合、日本での卒業に必要な単位として認められます。

期間	4ヶ月	6ヶ月	10ヶ月
取得単位数	22	22	44

※詳しくは帝京Study Abroad Centerまでお問い合わせください。

ダラム分校短期留学に 関する問い合わせ

帝京Study Abroad Center (T-SAC)
TEL: 042-678-3237, 3533 FAX: 042-678-3544
e-mail: t-sac@main.teikyo-u.ac.jp

※外国語学部外国語学科イギリス留学コースは、1年次にイギリスへ留学する
コースです(2年次以降については、原則として英語コースとなります)。尚、イギ
リスの学生ビザ制度の改正に伴い、留学前に一定の要件(英語力など)を満たす必
要があります。要件などの詳細については、今後イギリス政府の示す方針に沿い決
定する予定であり、最新情報については本学ホームページなどに随時掲載します。

大学時代に語学を勉強して、それなりの
コミュニケーションスキルを身につけてきた私は、
今、仕事を通して他国の方と出会いながら、
さまざまな文化や考え方に触れています。
しかし、双方が深入りできるほど長い時間
一緒に過ごす機会に恵まれることはほとんどないのが現状です。
やはり真の意味で「交流を持とう」と思うのであれば、
実際に違う文化圏に身を投じてみるのが大切なんです。
日本とは違った環境下に置かれている人々と触れ合うことで
自分が育ってきた国を顧みることになり、それがやがて
自身の存在を認識する作業につながっていくと私は考えます。
相手が同年代の外国人であれば、お互いが同じ立場ですから、
より深いところまで知ることができるでしょう。
ダラム分校から帰ってきた学生を見ると、
日本を出発する前より成長していることに気がついていつも驚きます。
自分の意見がきちんと言えるようになっている学生が多いですから、
みんないい意味で、自信をつけて帰国しているのでしょうね。
そんな、若いうちに経験しておくべきことができるという意味で
留学は非常に有意義かつ、貴重な時間だと改めて思います。

冲永佳史

Letter from President 学長からの手紙

留学の意義、それは他国を理解することで、
自分を知ることができること。学生の皆さんに向けて
冲永学長はそんなメッセージを送ってくれました。

Flair Travel Book

Durham

[イギリス・ダラム分校編]

出発前に、知っておきたいこと。



For Your Exciting Future

寮や校舎にはどんな設備があるの？
現地での生活の不安は、
ここで解消しましょう。



About Durham Life

ダラム分校での生活

Facilities 設備



学生寮の部屋

原則として、1人1部屋が割り当てられる。室内には、ベッドと机があり、広々として居心地も抜群だ。



図書館(ダラム分校校舎)

4万冊近い日本文献を所蔵している。日本の雑誌などもあり、勉強したり読書したり、思い思いの時間を過ごす。



多目的ルーム(寮)

帝京大生が自由に使用できる多目的ルーム。パーティーをしたり、テレビを見たり、みんなの憩いの場。



PCルーム(寮)

最新PCやインターネットの設備が整っているので、Eメールやレポートの作成に使用できる。



ランドリールーム(寮)

各学生寮に設置されている。日本のものより大きく一度にたくさん洗濯できるため、洗濯物をためる学生も多い！



音楽室(ダラム分校校舎)

防音設備の整ったスタジオを自由に使用できる。友だちとバンドを組んでイベントに参加する学生も。

Transportation 交通



市内はバス、市外へは電車で

市内の移動はバスが中心。学生証があれば2つのキャンパスをつなぐ無料シャトルバスを利用できる。市外へはダラム駅から電車を使って。

Shopping 買い物



WATERSTONE'S

ダラム大学のグッズなどを販売している本屋。市内の中心地にあり、授業に必要な文房具や書籍などはここで購入できる。



TESCO

ダラム市内にある大手スーパーマーケット。食品のほか、日用雑貨や薬なども揃っているため、留学生活の心強い味方。



Metrocentre

ダラム市内から路線バスで40分ほどのところにある、ヨーロッパ最大級の大型ショッピングモール。休日にゆっくりと訪れる学生も多い。

学校概要から提携先のダラム大学まで、
日本を出発する前に知っておきたい
帝京大学ダラム分校のこと、まとめてみました。



Campus Information

帝京大学ダラム分校



右/帝京大学ダラム分校のエントランス。上/学生寮の Etsuko Hall (左)と Shoichi Hall (右)。



School Data

Teikyo University of Japan in Durham
address:
Mill Hill Lane, Durham, DH1 3YB UK
tel: +44-191-334-5122

英語力を養いながら、カレッジライフも楽しめる環境。

帝京大学ダラム分校は、帝京大学とダラム大学の提携により、1990年に開校した。校舎は木々が生い茂る広大なダラム大学の敷地内にあり、留学中に滞する学生寮(本誌P4参照)もすぐそばにあるので、校舎との行き来も便利。帝京大生たちは、緑豊かな環境のなかで、じっくりと勉強に集中することができる。

また、ダラム分校の大きな特長

は、現地の学生と同等のカレッジライフを楽しめることだ。帝京大生は、ダラム大学の4つのいずれかのカレッジ(本誌P5参照)に、カレッジメンバーとして所属する。寮には小さなキッチンがついているが、基本的には食事も各々が所属するカレッジでとるため、現地で友だちをつくるチャンスも多い。異文化を体感しながら充実した留学が経験できるのだ。



About Durham University

ダラム大学について

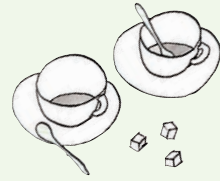
実績と歴史あるイギリスの名門大学。

1832年創立のダラム大学はイングラッドでは3番目に古い歴史を持つ、由緒ある大学。ケンブリッジ大学やオックスフォード大学と同様に、他の大学にはないカレッ

ジ制を採用しているため、学生コミュニティが活発なのが特長だ。伝統を重んじながら、各学部の研究水準・教育水準ともにイギリストップクラスの大学だ。



パブやレストランに出かければ、マナーや作法を重んじるイギリスの食文化を体感できます。伝統料理もぜひ味わいたいもの。



About British Food

イギリスの食文化

Pub パブ



地元の人と触れあえる空間

日本でいう居酒屋。ビールやイギリスの伝統料理が楽しみ、学生でも気軽に利用できる。夜になると地元の人で賑わうため、気さくに話しかけてみれば英語の上達につながるチャンス。ダラム市内にも数軒あるので、仲間とぜひ足を運んでほしい。



ヨークシャー・プディング

もちもちのシュークリーム生地のようなもので、イギリスの家庭料理のひとつ。肉料理のつけあわせとして出る。



フィッシュ&チップス

イギリスを代表する料理のひとつ。白身魚のフライとポテトフライに、モルトビネガーをたっぷりかけて食べる。

Afternoon Tea アフタヌーンティー



マナーを重んじるイギリスの習慣

アフタヌーンティーは女性の社交場として始められた習慣。紅茶と共にスコーンやケーキなどのお菓子を食べる。単に飲食を楽しむだけでなく、簡単な社交場として作法や、食器、花、会話などセンスが問われる場となっている。



香り高い、本場の紅茶

ポットにたっぷり用意されるアフタヌーンティーの紅茶。お好みでミルクと砂糖をたっぷり入れて飲むのが英国式。



お菓子は3段プレートで

上段にケーキ、中段にスコーン、下段にサンドウィッチがアフタヌーンティーの伝統的なスタイル。

More Information! ダラム市内の人気パンケーキ店



The Georgian Townhouse Pancake Cafe

ジョージアン・タウンハウスパンケーキカフェ

B & Bに併設されたパンケーキ専門店。ちょっとお腹が空いたときにぴったりの人気カフェ。赤色を効かせたインテリアがかわいい店内は、そこにいて癒される。



人気メニューのパンケーキ(クレープのようなもの)は、生地があっさりしていて美味。クリームやジャムの他にチーズやハムなどをのせていただく。

留学中やっぱり気になるのは現地の食事のこと。まずは帝京大生が普段食べている、学食メニューを紹介します。



Food Menu at Cafeteria

カレッジの食事

カレッジの食堂が 現地学生との交流の場所。

食事は基本的には各々が所属するカレッジで、決まった時間内にとる。メニューは日替りで、数種類のなかから選ぶバイキング形式。ベジタリアン用のメニューも用意されているのがうれしい。また、活気あふれる食堂は学生たちの大切な憩いの場。気さくに話しかけたり、話しかけられたり、現地の学生たちと交友関係を築く帝京大生も多いようだ。



昼食例 その2

メキシコ料理のタコス。トムモロシンの粉から作られる平焼きパン「トルティヤ」にひき肉などの具材をはさんで食べる。



昼食例 その1

肉厚の生地にたっぷりチーズがかかった、ドライソーセージのピザ。1枚食べればお腹いっぱいになるボリュームで学生に人気のメニュー。



朝食例

パン、ソーセージ、スクランブルエッグにフルーツヨーグルトが朝の定番。美味しいコーヒーを飲んで一日をスタート。



夕食例 その2

豚肉のソテーに生野菜とご飯、ビーフシチューとボリューム満点のメニュー。イギリスでもご飯が食べられるのはうれしい。



夕食例 その1

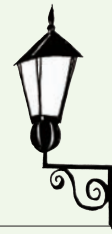
ハンバーガーの具材は数種類のなかから自分が好きなものを選ぶ。ベイクド・ポテトとサラダ、フルーツでビタミンを補給。



昼食例 その3

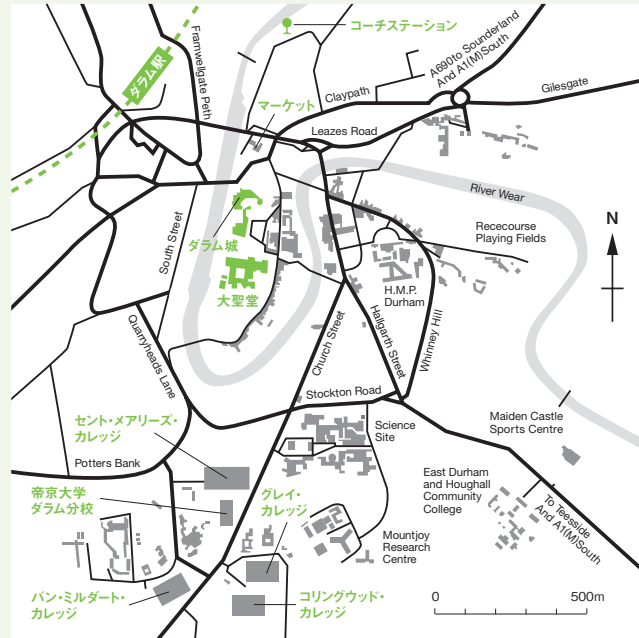
イギリスでは、インドカレーをよく食べる。なかでもこのチキンティカはイギリス発祥なのだから。サフランライスと一緒に。

日本とは異なる、イギリスのあれこれ。
最後に基本データをしっかりおさえて、
出発の準備に備えよう！



Travel Basic Information

ダラム(イギリス)基礎データ



Durham

ダラムについて

中世の町並みが残る
学園都市

イングランドの北東部に位置するダラムは、ウィアー川が流れ、歴史ある建築物が緑地の間に散在する美しい古都だ。街の中心にある大聖堂とお城は世界遺産に登録されている。また、市内にはダラム大学のカレッジが点在しており、学園都市しても賑わいをみせる。



ダラム大聖堂

イングランド北東部には魅力的な街がたくさん。
ダラムから電車に乗り込んで、
イギリスの歴史と文化をもっと堪能しよう！



Short Trip from Durham

ダラムから出かける



Whitby

ウィットビー

クック船長ゆかりの、小さな港町。

ウィットビーは北海に臨む小さな港町。この町は、クック船長が「エンデヴァー号」に乗って世界探検の旅へと出港した地としても有名で、彼の博物館もある。丘の上には、アビー（修道院跡）があり、そこから北海と市内を一望できる。

ダラムからのアクセス

ダラム駅からナショナル・レイルに乗り、2時間半ほど



自然豊かな、イングランド北東部

ダラムのあるイングランド北東部は、国立公園も多く、雄大で美しい自然が広がる。活気溢れる港町や、中世の歴史が息づく街など、イギリスの多様な面が楽しめる地域だ。電車やコーチ（長距離バス）を使って、いろんな街を訪れてみよう。

① 国名

United Kingdom of Great Britain and Northern Ireland (グレート・ブリテンおよび北アイルランド連合王国)
イングランド、スコットランド、ウェールズ、北アイルランドからなる連合王国。

② 市名

Durham city (ダラム市)

③ 公用語

英語、ウェールズ語

④ 宗教

英国国教会、カトリックが主なもの。

⑤ 政体

国王を国家元首とする立憲君主制。

⑥ 通貨

£ (ポンド)

⑦ レート

1£=134円 (2010年8月16日現在)

⑧ 時差

-9時間 (サマータイムの時は-8時間)



⑩ 国番号

44




⑪ ロンドンからのアクセス

電車: Kings Cross (キングスクロス) 駅からDurham (ダラム) 駅まで約2時間40分
バス: Victoria Coach (ヴィクトリア コーチ) 駅から約6時間30分

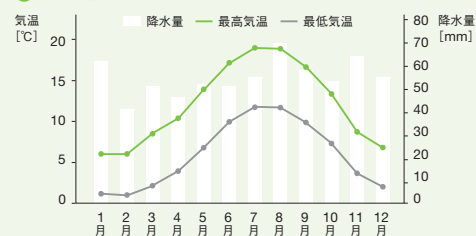
⑫ 電圧・プラグタイプ

230V / 240V

⑬ プラグタイプ

BF  B3  C 

⑭ 平均気温・降水量



York

ヨーク

北部イングランドを代表する、古都。

2000年の歴史を持つ街、ヨーク。城壁に囲まれ、中世の雰囲気そのまま残る美しい町並みは歩くだけでも楽しい。かわいらしいお店も多く、ショッピングも楽しめる。イギリス最大のゴシック聖堂、ヨークミンスターはぜひ訪れたい。

ダラムからのアクセス

ダラム駅からナショナル・レイルに乗り、45分ほど



Newcastle-upon-Tyne

ニューカッスル・アポン・タイン

文化施設やカフェが建ち並ぶ、商業都市。

イングランド北東部最大の都市。戦前は造船業で栄えたが、今は再開発がすすむ新しい文化都市として注目されている。市内にはチャイナタウンやショッピングセンター、レストランなどが充実しており、帝京大生たちも頻繁に足を運ぶようだ。

ダラムからのアクセス

ダラム駅からナショナル・レイルに乗り、20分弱ほど